

## 「奈良中心市街地交通処理対策検討委員会」について

国土交通省と奈良県は、奈良中心市街地における観光交通等の交通処理対策に関する検討を目的とする「奈良中心市街地交通処理対策検討委員会」を設置します。

奈良市域には、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする数多くの文化財が存在していることから、この地域を訪れる観光交通等による奈良中心市街地の交通渋滞問題が発生しており、これまで、観光シーズン時には、パーク＆ライドを実施するなど、渋滞緩和を図る施策を検討して参りましたが、今後は、現在、奈良県及び京都府において都市計画及び環境影響評価の手続きが進められている京奈和自動車道大和北道路など、計画中の道路が整備された場合についても考慮した上で、奈良中心市街地における交通処理のあり方等を検討していくため、関係機関が連携し、この度、当委員会を設置することと致しました。

### 1. 開催日時

---

平成18年12月26日(火)

11:00～12:00

### 2. 開催場所

---

奈良県経済倶楽部 5階会議室

住所：奈良市東向中町6

電話：0742-23-3661

### 3. 委員会メンバー

---

委員長：飯田 恭敬(京都大学名誉教授)

委員：国土交通省近畿地方整備局道路部長

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所長

奈良県土木部長

奈良県企画部観光交流局長

奈良県警察本部交通部長

奈良警察署長

奈良市助役

奈良市観光協会長

### 4. その他

---

委員会の頭取り可(冒頭委員長挨拶まで)。委員会は非公開。

## 一般国道24号京奈和自動車道大和北道路について

大和北道路は、近畿圏の外郭環状道路である京奈和自動車道の一部を形成し、京都市、奈良市、和歌山市の拠点都市間の地域連携を強化するとともに、慢性的な交通渋滞が発生している一般国道24号の交通渋滞の緩和、交通安全の確保を目的とした道路として計画しています。

これまで、大和北道路の計画にあたり、世界遺産の「平城宮跡」をはじめとする極めて重要な文化財が多く存在するため、大学教授等の学識経験者で構成する3つの委員会で、文化財保護、古都の景観への影響についてルート・構造を検討してきました。

地下水検討委員会では、地下水の現状分析、道路建設に伴う地下水への影響を予測・評価してきました。

文化財検討委員会では、文化財への配慮事項について検討してきました。

大和北道路有識者委員会では、地下水検討委員会、文化財検討委員会の検討結果を踏まえ、地域住民等のアンケート調査等を実施し、文化財保護、景観への配慮から2ルートに絞り込みました。

これらの委員会結果を踏まえ、関係行政機関で、「西九条佐保線ルート」にルートを絞り込み、都市計画及び環境影響評価の手続きを進めているところです。

大和北道路 位置図

